

D【業種別：小売業（卸売業含む）】

1. 一宮商工会地区における小売業の景況《調査対象事業所数：6》

令和7年10月～12月期の景況

小売業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期の小売業の業況D Iは△2、今後の業況D Iは△2となっており、対前年比はそれぞれ2ポイント、3ポイント好転している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- ㊦業況（今期） ①楽になった ②変わらない ③苦しくなった
 ㊧業況（今後の見通し） ①良くなる ②変わらない ③悪くなる



設問の結果

㊦業況D I（今期） ①「楽になった」－ ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	4	2		△2

㊧業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」－ ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	4	2		△2

〈令和7年〉㊦今期の業況D I △2（対前年比 2好転）

〈令和6年〉㊦業況D I △4

㊧今後の業況D I △2（対前年比 3好転）

㊧業況D I △5

◎小売業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D Iは△1、採算D Iは△3、資金繰りD Iは△2となっており、対前年比で売上高D Iは3ポイント好転し、採算D Iと資金繰りD Iはともに0ポイントで横ばいとなった。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- 売上高 ①増えた ②変わらない ③減った
 ○採算 ①良くなった ②変わらない ③悪くなった
 ○資金繰り ①楽になった ②変わらない ③苦しくなった



設問の結果

小売業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	2	1	3		△1
採算	0	3	3		△3
資金繰り	0	4	2		△2

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉売上高D I △1 (対前年比 3好転) 〈令和6年〉売上高D I △4
 採算D I △3 (対前年比 0横ばい) 採算D I △3
 資金繰りD I △2 (対前年比 0横ばい) 資金繰りD I △2

◎小売業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した客単価、客数、仕入単価、従業員について設問により確認したところ、客単価D Iは0、客数D Iは△1、仕入単価D Iは4、従業員D Iは0となっており、対前年比では客単価D Iは1ポイント減少、客数D Iは0ポイント横ばい、仕入単価D Iは2ポイント減少、従業員D Iは1ポイントで増加となっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ○客単価 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○客数 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○従業員 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |



設問の結果

業種別項目D I (小売業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
客単価	2	2	2		0
客数	2	1	3		△1
仕入単価	5	0	1		4
従業員	0	6	0		0

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉客単価D I 0 (対前年比 1減少) 〈令和6年〉客単価D I 1
 客数D I △1 (対前年比 0横ばい) 客数D I △1
 仕入単価D I 4 (対前年比 2減少) 仕入単価D I 6
 従業員D I 0 (対前年比 1増加) 従業員D I △1

〔一宮商工会地区の小売業が直面している問題点〕

- ◎仕入価格の増加 3事業所
- ◎材料人件費以外経費増加 3事業所
- ◎消費者ニーズへの対応 2事業所
- ◎大企業等進出競争激化 1事業所
- ◎店舗の老朽化 1事業所
- ◎人件費増加 1事業所
- ◎取引条件悪化 1事業所
- ◎需要の停滞 1事業所

《小売業者のコメント》

- ◆食料品の値上がりで衣料まで購買が回らない。
- ◆賃金ばかり上がり、売上が低下し経費が増加する。賃金を商品代に転嫁しろというがなかなか出来ない。
- ◆物価高で、お客様のお金が流れにくい。
- ◆金銀プラチナの取引価格が急激に上がりすぎている。

2. 愛知県内商工会地区の小売業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋

《小売業は売上額D I、資金繰りD Iが好転、採算D Iが悪化》

小売業では、売上額D Iが△12.7、資金繰りD Iが△17.0となり、対前期比でそれぞれ0.1ポイント、6.4ポイント好転したが、採算D Iは△31.9となり、対前期比で△8.5ポイント悪化となった。

次期は、売上額D Iが悪化、採算D Iが低下、資金繰りD Iが横ばいする見通しである。

小売業の主要D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △12.7 (対前期比 0.1好転) 次期予想 △14.9 (対前期比 △2.2悪化)
- ・採算D I △31.9 (対前期比 △8.5悪化) 次期予想 △34.1 (対前期比 △2.2低下)
- ・資金繰りD I △17.0 (対前期比 6.4好転) 次期予想 △17.0 (対前期比 0.0横ばい)

〈小売業景況図〉

時期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
07年 7月～9月		△12.8 ↗		△23.4 ↗		△23.4 ↘
07年 10月～12月		△12.7 ↗		△31.9 ↘		△17.0 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		△14.9 ↘		△34.1 ↘		△17.0 →

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月の小売業の景況は愛知県概略版では売上額D I、資金繰りD Iは好転、採算D Iは悪化している。一宮商工会地区では売上高D Iは好転、採算D Iと資金繰りD Iは横ばいである。今後、愛知県概略版では、売上額D Iは悪化、採算D Iは低下、資金繰りD Iは横ばいの見通し。一宮商工会地区の業況は、先が見えないため現状と「変わらない」もしくは「悪くなる」見通しを持っている。